

東白川村 美しい村づくり 委員会

第57回

- 場 所：五加交流サロン ほほえみ
- 時 期：令和3年7月27日 19:00~21:00
- 参加者：委員3名 一般8名 行政担当3名 ゲストスピーカー1名
- 新型コロナ対策を実施して開催しました。(マスク、手消毒、体温チェック、常時換気)

第1 開会

美しい村づくり委員会は毎月1回、地域づくりについて対話を重ね、今回57回目を迎えました。

今年度は「学びあい」を行っています。前回の第1回「茶産業振興施策について」に続き、今回の第2回は「SDGsと持続可能な地域づくり」です。講師は、加藤^{しんやす}慎康さんです。

加藤さんは、現在「美濃加茂市役所まちづくりコーディネーター」「合同会社カモケンラボ」「木曽三川電力みのかも株式会社」にて多様な地域づくりに取り組んでいます。また、美濃加茂市はSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に内閣府から選定されていて、加藤さんはその計画段階から携わっています。美濃加茂市のSDGsの取り組み、加藤さんの地域づくりの紹介をとおして、「持続可能な村づくり」を学び合いましょう。(ファシリ：村雲和裕)

第2 村長あいさつ

- 1 村の交流サロンについて
- 2 SDGsと第6次総合計画について

第3 村のSDGsについて

村のホームページのSDGsを紹介し、村の現状を伝えました。

今回が SDG s の実質的な初めての活動となること、また、村の各計画に SDG s の視点が表現されていること、中でも「東白川村 100 年の森林づくり構想」は、東白川村の独自性が強い SDG s 活動になることを伝えました。(事務局 樋口)

第 4 第 2 回学び合い会「SDG s と持続可能な地域づくり」

1 取組み紹介

紹介者：合同会社カモケンラボ代表 加藤慎康さん

2 紹介内容

- (1) 自己紹介（職歴、地域活動へのきっかけ）
- (2) 名古屋市栄地区の都市計画や市民活動について
- (3) 美濃加茂市のまちづくり事業について
- (4) 合同会社カモケンラボについて
- (5) 木曽三川電力みのかも株式会社について
- (6) 美濃加茂市 SDG s 未来都市及び自治体 SDG s モデル事業
- (7) パートナーシップ、地域内循環について
- (8) バックキャストイングと課題解決について
- (9) 地域通貨と「農」の循環について
- (10) 木曽川流域連携について

3 質疑応答

- (1) 美しい村づくり委員会がオープンではない。固定化している。
- (2) 対話の場では、テーマは課題か、未来像がよいのか。
- (3) 語る場、対話の場を盛り上げるコツは。
- (4) イベント参加・企画と声かけで人とつながる重要性。
- (5) 「やりたい人」が出会える場が必要。
- (6) つなげる人が必要。
- (7) 声が小さい人、意見が出ない人を引き出すには、「地方創生 SDG s カードゲーム」が有効。社会的立場が違う者同士が互いに気づくきっかけとなる。

(8) 美濃加茂市役所の部長クラスは、民間提案・企業提案を否定しない姿勢をもっている。結果、地域のためになる。そういった民間からの意見を総合的に対応する窓口があるといい。職員の成長にもなる。

※グループワークを中止して、質疑応答を延長しました。

第5 閉会

【次 回】 9月末 19時から21時 場所(未定)

講師 未定

テーマ 未定







以上